

# 科学研究費補助金について

平成20年3月

文部科学省研究振興局学術研究助成課

# 競争的資金の拡充等による研究開発の推進

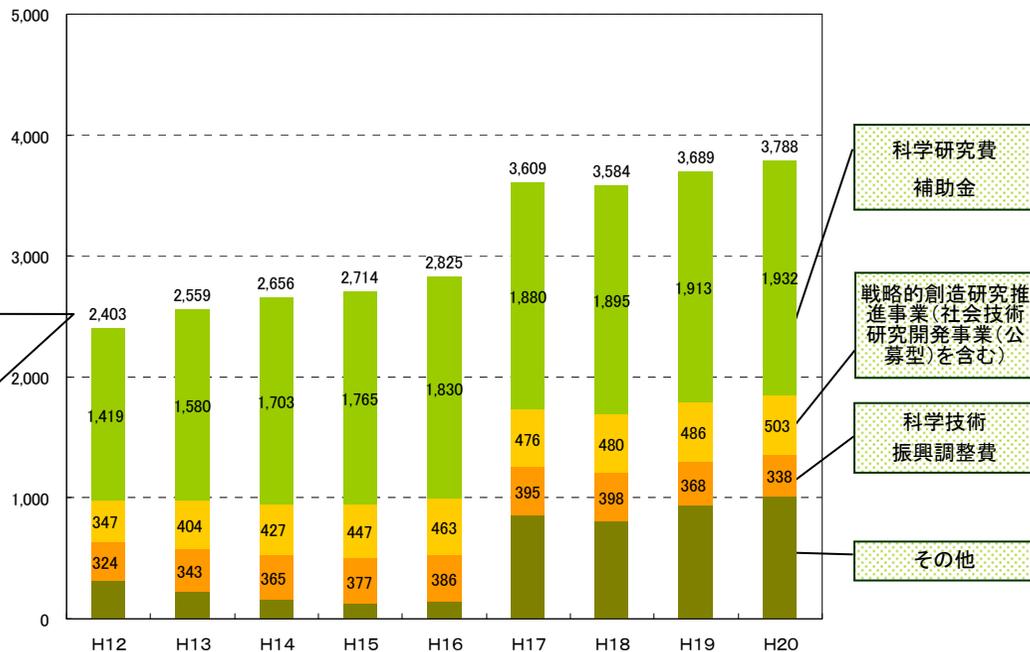
平成20年度予算案 379,249百万円  
平成19年度予算額 369,040百万円

研究者の研究費の選択の幅と自由度を拡大し、競争的な研究開発環境の形成に貢献するとともに、イノベーションの種となる多様な基礎研究を推進する科学研究費補助金等の**競争的資金の拡充**を図り、**研究開発の推進とイノベーションの創出**を図る。

## 文部科学省の競争的資金の推移

## 文部科学省の競争的資金の一覧

(億円)



※運営費交付金中の推計額を含む

	平成20年度 予算案	平成19年度 予算額
○は文部科学省、◆はJSTの運営費交付金		
○科学研究費補助金	1,932	(1,913)
◆戦略的創造研究推進事業 (社会技術研究開発事業(公募型)を含む)	503	(486)
○科学技術振興調整費	338	(368)
○グローバルCOEプログラム	340	(158)
○21世紀COEプログラム	39	(220)
○世界トップレベル研究拠点プログラム	71	(35)
○キーテクノロジー研究開発の推進	193	(160)
○地球観測システム構築推進プラン	4	(6)
○原子力システム研究開発事業	59	(52)
◆先端計測分析技術・機器開発事業	55	(48)
◆革新技術開発研究事業	8	(17)
◆独創的シーズ展開事業	81	(90)
◆産学共同シーズイノベーション化事業	22	(18)
◆重点地域研究開発推進プログラム	94	(83)
◆地域結集型研究開発プログラム等	29	(35)
<b>【新規】</b>		
◆科学技術発展基盤整備事業	5	(—)
○政策や社会の要請に対応した人文・社会科学研究推進事業	1	(—)
○人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業	4	(—)
○海洋資源の利用促進に向けた基盤ツール開発プログラム	4	(—)
○原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	5	(—)

◆「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」(平成19年2月15日大臣決定)などを踏まえて、研究費の管理・監査体制の整備を進める。  
◆ 研究費の効果的・効率的配分に向けて、「府省共通研究開発管理システム」を運用。

# 科学研究費補助金の拡充と改革

革新的な学術研究を支援する科学研究費補助金の拡充

〔平成20年度予算案 : 193,200百万円  
(平成19年度予算額 : 191,300百万円)〕

## ○科学技術基本計画（閣議決定）

“競争的資金の拡充”  
“間接経費30%の早期実現”  
“若手研究者支援”

## ○経済財政改革の基本方針2007（閣議決定）

“競争的資金の拡充”  
“間接経費30%の早期実現”  
“若手研究者支援”

## ○長期戦略指針イノベーション25（閣議決定）

“若手研究者の自立支援”  
“ハイリスク研究の推進”  
“競争的資金の拡充”

“間接経費30%の早期実現”

## ○平成20年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針（総合科学技術会議）

“多様な基礎研究等への競争的資金の拡充”  
“若手研究者支援”  
“間接経費30%の早期実現”  
“新分野開拓等の挑戦的な研究へ向けた競争的資金の拡充”

## ○研究費の有効活用

- ・補助金の不正使用の防止
- ・研究活動の不正行為の防止
- ・研究費配分における無駄の排除

## ○科研費の弾力的使用

## 科 研 費 の 拡 充 と 改 革

### ◎若手研究者育成・支援の拡充（56億円増）

○私立大学や地方国立大学が多く申請する「若手研究(B)」、  
「若手研究(スタートアップ)」に新たに30%の間接経費を  
措置（49億円）

○特に優れた若手研究者の自立を促進するための「若手研究  
(S)」を充実（7億円）

### ◎新学術領域研究の新設（53億円増）

○新たな領域を開拓する「新学術領域研究」を新設

### ◎その他の費目の見直し（△90億円）

○既存の研究種目の転換・統合等による必要な見直し

### ◎不正使用防止策の推進

- ・経理管理・監査実施状況報告書の応募要件化
- ・機関管理の体制強化
- ・ルールの徹底 等

### ◎電子システム化の推進

### ◎年度間繰越の活用促進

平成20年度予算案 : 193,200百万円  
 (平成19年度予算額 : 191,300百万円) } 1,900百万円増

**【若手研究者育成・支援の拡充】 56億円**

○私立大学や地方国立大学が多く申請する「若手研究(B)」、「若手研究(スタートアップ)」に新たに30%の間接経費を措置 (49億円)

○特に優れた若手研究者の自立を促進するための「若手研究(S)」を充実 (7億円)

例):私立大学の配分金額の割合

研究種目	配分割合
若手研究 (B)	22%
若手研究(スタートアップ)	26%
全種目	14%

※平成19年度実績

◆ 今回新たに間接経費を措置する研究種目

研究種目	研究費規模	未措置の間接経費
○ 若手研究(B)	500万円以下	<b>4.4億円</b>
○ 若手研究(スタートアップ)	年間150万円以下	<b>5億円</b>

**49億円**

◆ 間接経費未措置の研究種目

研究種目	研究費規模	未措置の間接経費
× 特定領域研究	約500～1,000万円	8.2億円
× 萌芽研究	500万円以下	1.3億円
× 特別研究促進費	約500～1,000万円	1億円
× 特別研究員奨励費	年間150万円以下	1.5億円

(→5年以内に新種目に転換)

**【「新学術領域研究」の新設】 53億円**

○新たな領域を開拓する「新学術領域研究」を新設

「特定領域研究」

▲43億円

「学術創成研究費」

▲10億円

転換・統合→「新学術領域研究」



**53億円**

※1 新領域の例:再生医工学、環境ガバナンスなど

※2 従来に比して、私立大学、地方国公立大学の参加促進、人文・社会科学分野の振興に配慮し、応募金額の下限を引き下げ、採択件数の増を図る。

**【その他の費目の見直し】 △90億円**

○既存の研究種目の転換・統合等による必要な見直し

# 科学研究費補助金の研究種目

(平成20年度)

- 注1: ※印を付した研究種目の審査は文部科学省が担当。  
 注2: 青字の研究種目には間接経費が未措置。  
 注3: 赤字の研究種目には間接経費を平成20年度より措置。

平成19年度応募採択状況  
(新規+継続)

応募: 131,600件  
 採択: 56,400件  
 採択率: 42.8%

(新規)

応募: 99,400件  
 採択: 24,200件  
 採択率: 24.3%

19年度予算額 1,913億円  
 20年度予算案 1,932億円

研究費の規模  
／  
研究の発展

## 国際的に評価の高い研究の推進

### 特別推進研究

3~5年 制限なし (5億円程度)  
 \* 国際的に高い評価を得ている研究

### 新学術領域研究※

異分野連携等による新領域形成や挑戦的研究などの推進

〔研究領域提案型〕5年  
 年間1,000万~3億円程度  
 共同研究等による新領域形成や領域の格段の進展

〔研究課題提案型〕3年(評価により2年延長)  
 年間1,000万円程度

従来の分科・細目区分を超える新興・融合分野の研究

### 学術創成研究費

【新規募集停止】  
 5年 年間7,000万円程度

### 特定領域研究※

〔領域〕3~6年  
 年間2,000万~6億円  
 【新規募集停止】  
 〔公募〕1~2年 400万円程度

### 特別研究促進費※

\* 実験的試行、緊急研究

### 萌芽研究

1~3年 ~500万円  
 \* 意外性のある芽生え期の研究

### 基盤研究(S)

原則5年 5,000万~2億円程度  
 \* 独創的・先駆的研究の格段の発展

### 基盤研究(A)・(B)・(C)

3~5年 (A) 2,000~5,000万円  
 (B) 500~2,000万円  
 (C) ~500万円  
 \* 研究者個人の独創的・先駆的研究

### 若手研究(S)

5年 概ね3,000万円  
 ~1億円程度

### 若手研究(A)

2~4年 500~3,000万円

### 若手研究(B)

2~4年 ~500万円

### 若手研究(スタートアップ)

2年 年間150万円以内

### 特別研究員奨励費

3年以内 年間150万円以内

若手研究者の自立支援

新領域の形成、挑戦的研究

研究者の自由な発想に基づく研究の多様性の確保

研究種目の趣旨